A－1　上越地域振興局庁舎会議室

所 在 地	新潟県上越市本城町
事業主体	新潟県
構　　造	ＲＣ造３階建
延床面積	3895.33m2
竣工年月	平成24年10月（耐震改修）

木材利用量	9.74m3（内装木質化）
うち県産材	9.74m3
使用樹種	県産スギ
設　　計	㈱アイ建築研究所
施　　工	久保田建設㈱

◆施設の概要

上越地域振興局庁舎本館は、昭和38年に竣工したが、耐震診断の結果、耐震性能が不足していたため、平成24年度に耐震改修工事を実施した。これにあわせて会議室の内装木質化を行ったものである。

◆工法等の特徴

木材を使用した部屋（会議室）の壁仕上げは、改修前は、EP塗装壁であったが、改修後には腰壁に県産の杉材貼りとした。

◆整備にあたり工夫したこと

会議室に木材を使用することで、木のぬくもりと温かみを感じられるようにした。

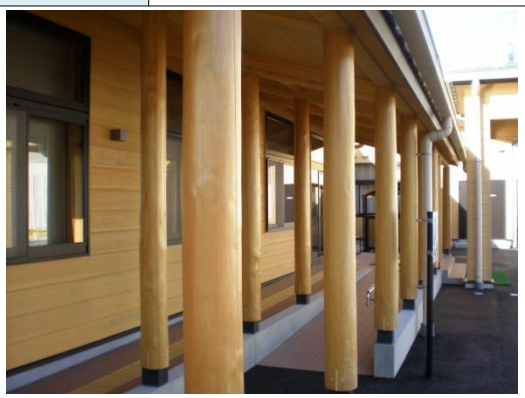
◆利用者の声

木のぬくもりと温かみを感じられる室内環境のもとで、会議を行うことができる。

A－2　村上市役所山北支所庁舎

所 在 地	新潟県村上市府屋
事業主体	村上市
構　　造	木造平屋建て
延床面積	749m2
竣工年度	平成25年度

木材利用量	188.8m3
うち県産材	188.8m3
使用樹種	県産スギ
設　　計	太陽設計㈱
施　　工	富樫組・カエツハウス工業・又助組 特定共同企業体



◆施設の概要

庁舎の建設にあたり、住民代表者等による「山北支所庁舎建設検討委員会」で基本コンセプト等について検討した。当地域は林業が盛んであることから、地元スギ材をふんだんに使った木造施設とするとともに、環境や省エネルギーなどに配慮した「環境にやさしい庁舎」を基本コンセプトとして建設された。

◆工法等の特徴

建設に使用する木材は、全て県産材を使用。主要部分である柱、梁、外壁などは、地元山北地区のスギ材を使用し、構造的には、横架材に大断面集成材を使用し、広い執務スペースを確保した。また、玄関入り口のスロープには、山北地区特産の磨き丸太を使用し、木造施設らしい外観とした。

空調設備についても、県産材を原料とした木質ペレットを燃料とした冷温水発生機による冷暖房空調を導入し、CO_2排出量削減による環境対策にも配慮した。

◆整備にあたり工夫したこと

来庁者の利便性を考慮し、ワンフロアに全課を配置した。また、地域住民が利用できる地域活動室を設置したり、税務申告や選挙期日前投票などにも利用できる多目的ホールを設置するなど、地域住民が気軽に利用できる木造公共施設とした。

◆利用者の声

「木のぬくもりが実感できた。明るく優しい感じがする。地区の施設にも木材を多用してほしい。」等当施設の利用で木材利用の意義や木の良さについて理解が深まった意見や、「森林荒廃を防ぐためにも木材利用を推進すべき。山北の地域性を象徴している。木造の方がより新鮮な空間を感じる。」等木造公共施設の建設を促進すべきである意見が多数寄せられた。

A－3　五泉市村松支所

所 在 地	新潟県五泉市村松乙
事業主体	五泉市
構　　造	木造２階建て
延床面積	1,983.7m2
竣工年月	平成28年５月

木材利用量	662.8m3
うち県産材	398.8m3
使用樹種	県産スギ、国産カラマツ、国産ヒノキ
設　　計	㈱創建築設計事務所
施　　工	佐々木・番場五泉市村松支所庁舎建設工事特定共同企業体

◆施設の概要

村松庁舎は親しみやすく快適に利用できるロビーや個室相談室をはじめ、市民活動の拠点となる多機能会議室や情報提供スペースを設けるとともに、高齢者や障害者を含むすべての人が円滑に利用できるようなユニバーサルデザインとし、地域災害時の避難施設としての機能を有している。

◆工法等の特徴

梁の一部には中心部を県産スギ、両側端を国内産カラマツを使用したハイブリッド集成材を使用して構造強度を確保するとともに、県産材の利用を増やしている。

◆整備にあたり工夫したこと

地域産材を活用した木造建築である事をよりアピールできるように、景観に配慮した伝統的な木造建築の外観とした。

◆利用者の声

「城下町にふさわしい木造建築で、木の香りがしてよかった。」など地域にあった建物との好評な意見が多かった。

A－4　醸造試験場研修棟

所 在 地	新潟県新潟市中央区水道町二丁目
事業主体	新潟県
構　　造	木造１階建て
延床面積	143.1m2
竣工年度	平成30年度

木材利用量	33.0m3
うち県産材	22.1m3
使用樹種	県産スギ
設　　計	㈱渋谷建築設計事務所
施　　工	㈱田中組

◆施設の概要

県内清酒産業を支える人材育成の拠点施設であり、新潟清酒学校の授業や品評会出品酒の指導、日本酒学の授業等に活用されている。

◆工法等の特徴

構造は木造在来軸組工法。研修室内部の仕上材に県産木材を使用することで、木のぬくもりが感じられる空間とした。また、敷地が風致地区に指定されているため、外装材に県産木材を使用することで、景観に配慮した。

◆整備にあたり工夫したこと

室内外に県産木材を使用することで、酒蔵の雰囲気を意識した造りとした。

◆利用者の声

「木のぬくもりが感じられ、雰囲気もよい」と好評である。

A－5　魚沼市役所本庁舎

所 在 地	新潟県魚沼市小出島910番地
事業主体	魚沼市
構　　造	鉄骨鉄筋コンクリート造４階建て
延床面積	6,939m2
竣工年度	令和元年度

木材利用量		32.3m3
うち県産材		32.3m3
使用樹種		スギ、ブナ（魚沼市産）　他
設　　計		石本建築事務所・千葉学建築計画事務所設計共同体
施工	建築工事	伊米ヶ崎・貝瀬材木・中元・竹田特定共同企業体
	電気設備	東洋・真島特定共同企業体
	機械設備	ダイダン・コイデン・佐藤・渡辺特定共同企業体

市松模様の外観

魚沼市産杉を使用した雁木テラスの天井

◆施設の概要

「市民の安心を支え、市民が集う、まちづくりの拠点」を目指し、従来の分散した市民サービス等をワンストップで提供できる庁舎とし、また、防災拠点としての機能を果たすなどの目的のため新設された。

◆県産材・県産品利用について

魚沼市産杉は、雁木テラスの天井や接客カウンターの側板に使用した。魚沼市産ブナ（スノービーチプロジェクト協力）は、2階待合スペースの床材に使用し、ぬくもりを感じられる作りにした。他にも庁舎の備品には、魚沼市産ブナを、接客カウンターの天板、待合スペースのテーブル・椅子セット、市長室や応接室の応接テーブルに使用し、魚沼市産材の活用についてPRしている。

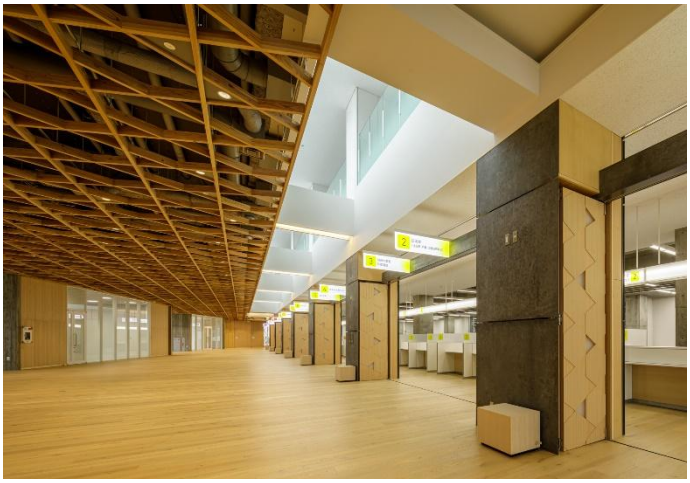
◆整備にあたり工夫したこと

魚沼市産木材を可能な限り使用することで、森林資源の適切な循環について市民へ呼びかけることができ、また、市民から親しみやすさや暖かさを感じられる施設となった。

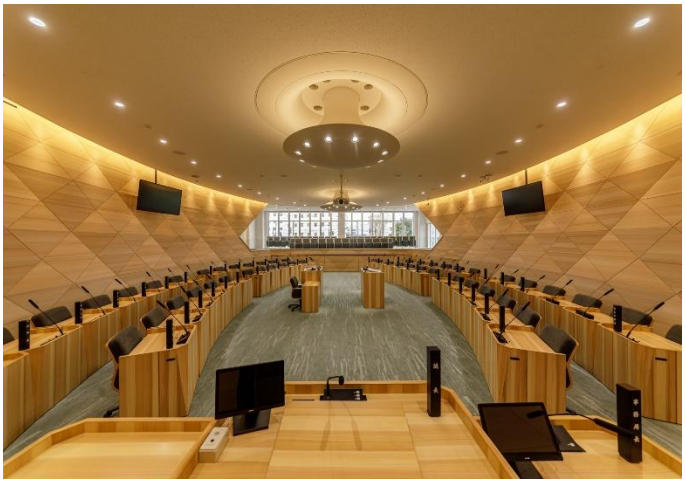
A－6　柏崎市役所本庁舎

所 在 地	新潟県柏崎市日石町２－１
事業主体	柏崎市
構　　造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨
	鉄筋コンクリート造、鉄骨造
延床面積	11,712m2（別棟含む）
竣工年度	令和２年度

木材利用量		77.9m3
うち県産材		40.4m3(椅子等備品含む)
使用樹種		スギ（柏崎市産・県産）、ヒノキ
設　　計		佐藤総合計画
施工	建築工事	植木・東北・阿部特定共同企業体
	電気設備	丸万・品田・協同特定共同企業体
	機械設備	日新設備・北越空調・柏崎設備特定共同企業体



市民ホール（天井格子は県産材スギを使用）



議場（家具は柏崎市産スギを使用）

◆施設の概要

１　市民が安心して暮らせるよりどころとなる庁舎
２　協働によるまちづくりの拠点となる庁舎
３　さらなる未来をめざす柏崎市のシンボルとなる庁舎を基本理念に掲げ、旧庁舎で起きていた諸問題の解消や、災害時において円滑な対応が可能となるよう高い防災性を備え、防災拠点としての役割を実現するために新設された。

◆県産材・県産品利用について

柏崎市産のスギは議場・傍聴席の机・椅子に使用した。県産スギは市民ホールの天井格子や雁木の天井を中心に市民から見える箇所に配置した。

◆整備にあたり工夫したこと

市保有林から厳選して必要な数量を自ら伐採し、工事業者へ引き渡した後に製材加工を行ったことで工期を短縮した。床にフローリングを使用し、更には閉庁時に使用する管理用扉を木製とすることで、温かみのある空間を作り出すことができた。

A－7　佐渡市役所　本庁舎

所 在 地	新潟県佐渡市千種
事業主体	佐渡市
構　　造	鉄筋コンクリート造３階建
延床面積	5081.08m2
竣工年月	令和６年３月28日

木材利用量	34m3
うち県産材	30.6m3
使用樹種	佐渡産杉等
活用事業	－
設　　計	（株）基設計
施　　工	中野建設工業・遠藤建設共同企業体

外観

内装

◆施設の概要

災害発生時には防災拠点となる機能を備え、ワンストップサービスによる利便性の向上や、自然エネルギーの活用など、安全で安心、かつ市民の暮らしを支えるための拠点施設として建設した。

◆県産材・県産品利用について

佐渡市公共建築物等木材利用促進基本方針に基づき、佐渡産木材の利用促進の取り組みとして建物の内装・外装の一部に佐渡産杉や市の木「アテビ」などを使用した。

◆整備にあたり工夫したこと

日光遮断ルーバーや天井ルーバー、事業壁面やキッズスペースなど、可能な限り木材を使用し、近代的な中にも安らぎを落ち着きを感じられるよう整備した。

また、集成材を使用するには地域材を島外の集成材工場へ搬出・再搬入する必要があり、コストとカーボンニュートラルの面で問題があるため、無垢のスギ・アテビ材の利用を基本とした。

Ｂ－１　浦佐認定こども園

所 在 地	南魚沼市浦佐
事業主体	南魚沼市
構　　造	木造平屋建て
延床面積	1,950m2
竣工年度	平成23年度

木材利用量	449.8m3
うち県産材	393.9m3
使用樹種	県産スギ（構造材は越後杉集成材）
設　　計	種村俊夫建築設計事務所
施　　工	井口・島田・桐生特定共同企業体

◆施設の概要

平成18年に認定こども園制度が施行されたことを契機に、南魚沼市が幼稚園と保育園機能を併せ持つ認定こども園を建築し、乳幼児期の保育・教育の一体化と子育て支援の充実を図ることなどを目的に設置した。医療法人社団萌気会を指定管理者として、平成23年4月に定員180人の保育所型認定こども園として開園、その後、入所児童の増加に伴い、平成27年度から定員を200人に増員している。

◆工法等の特徴

大断面木造であり、主要構造部（柱・梁・筋交い・土台）には越後杉の構造用集成材を使用して耐震強度を確保している。また、構造部材を石膏ボードで被覆することにより、新潟県初の木造耐火建築物となっている。

◆整備にあたり工夫したこと

木材は南魚沼市内の城内中学校の学校林から伐採した杉を利用している。園舎は「子どもをまんなかに」の理念のもと、屋外遊技場を施設の内側に配置したドーナツ型のユニークな構造となっている。また、環境に配慮し、木質ペレットボイラーによる冷暖房システムを採用している。

◆利用者の声

「木の優しい香りと柔らかな感触など、木の魅力を日々感じられる。」「子どもがどこまでも走っていきたくなるドーナツ型の構造や、木のテーブル、おもちゃなどで心地よく過ごせる空間で、木や自然について大人も子どもも学びあえる環境となっている。」など、多くの利用者から大変素晴らしいと称賛されている。

Ｂ－２　門前にこにこ保育園

所 在 地	新潟県上越市下門前
事業主体	㈱リボーン
構　　造	木造（一部鉄筋コンクリート造）平屋建て
延床面積	979m2（うち木造部927m2)
竣工年度	平成23年度

木材利用量	303.2m3
うち県産材	202.2m3
使用樹種	県産スギ（ドライ・集成材・合板）、カラマツ集成材
設　　計	㈲ハート１級建築士事務所
施　　工	㈱福田組上越営業所

◆施設の概要
老人福祉施設が併設された、民間では県内初の幼老複合施設として注目されている。

◆工法等の特徴
基礎と柱、柱と梁をオリジナルの接合金物で結合する「KES構法」を採用。東日本大震災での津波にも耐えた実績のある工法で、耐震性の高い安全・安心な保育園である。また越後杉の３製品（ドライ、集成材、合板）すべてを使用し、総木材利用量に占める県産材の割合は６７％となっている。

◆整備にあたり工夫したこと
柱や梁を現しにすることで、木造の良さをアピールした。また内装材でも越後杉をふんだんに使用することで、直接木に触れて温かみを感じられるようになっている。

◆利用者の声
「木のぬくもりが感じられる」と大好評で、入園希望者が殺到している。また内装に使用された越後杉の触り心地が良いため、来場者は自然と壁や手摺りを触って、その感触を楽しんでいる。

Ｂ－３　おひさま保育園

所 在 地	新潟県糸魚川市大字小見
事業主体	社会福祉法人みその会
構　　造	木造平屋建て
延床面積	497m2
竣工年度	平成24年度

木材利用量	106.2m3
うち県産材	70.4m3
使用樹種	県産スギ、国産ヒノキ、ベイマツ集成材
設　　計	和設計室
施　　工	㈱笠原建設

◆施設の概要

中能生保育園・東能生保育園・南能生保育園の3つが統合して開園した。能生地域の乳幼児の保育や一時預かり事業を行っている。

◆工法等の特徴

可能な限り県産材を利用できるよう工夫を行い県産材率は66%となっている。

当初は、床暖房をする予定であったが、床材を3cmの無垢材に変更し、ペレットストーブを導入することにより、木材利用量を増やすと伴に、コストの縮減と糸魚川の厳しい寒さ対策の両立を図ることができた。

◆整備にあたり工夫したこと

地元の木材を使用した、温かいぬくもりのある園舎の中で、子供達の健やかな成長を育みたいとの思いから、園児による、使用する木材の伐採見学会や、床材や腰板を加工する施設の見学会を行った。

◆利用者の声

「子供達の環境として、杉の木はとても温かくて、ぬくもりがあって、子供達は元気いっぱい保育園の生活を楽しんでいます。」「かけっこをして転んでも、杉の木は柔らかいので怪我をすることもなく、0歳児の子供達もハイハイをしたり、腰板につかまり立ちするところが、柔らかい感触で、健やかに成長しています。」

B－4　中条すこやかこども園

所 在 地	新潟県胎内市西条町
事業主体	胎内市
構　　造	木造平屋建て
延床面積	2378.2m2
竣工年月	平成26年３月

木材利用量	443.2m3
うち県産材	325.1m3
使用樹種	県産スギ、国産カラマツ、ヒノキ
設　　計	㈱長大
施　　工	小野組・小野工務店特定共同企業体

◆施設の概要

保育と教育の一体的な提供と子育て支援サービスの充実を図るため、胎内市中条地区の老朽化が進んだ2保育園と1幼稚園を統合し、幼保連携型認定こども園を新設した。建設にあたっては、構造を木造平屋建てとし、新潟県産スギ材を主体とする地域材を構造材及び仕上げ材に利用し、子どもにやさしい木のぬくもりの溢れた園舎の整備を行った。

◆工法等の特徴

木材が過大なサイズにならないよう検討されたトラス構造とし、部材断面を一般的な規格で入手が容易な材で構成された設計を行った。床にはスギの無垢材を使用している。

◆整備にあたり工夫したこと

これまで胎内市では、公共施設への地域材利用実績がほとんどなかったため、円滑な地域産材の供給を目的とし、設計委託の段階から胎内市、設計委託業者、森林組合、地区木材協会が事前に協議を行った。

◆利用者の声

「木材が多く使われているので暖かみがあり、床もやわらかいので、子どもたちも安心して走り回ることができるので、このような施設 が増えるとうれしいです。」

Ｂ－５　村上市保内学童保育所

所 在 地	新潟県村上市下鍛冶屋
事業主体	村上市
構　　造	木造平屋建て
延床面積	445.51m2
竣工年月	平成28年３月

木材利用量	153m3
うち県産材	98m3
使用樹種	県産スギ、米マツ等
設　　計	㈲モア建築設計事務所
施　　工	㈱横井組

◆施設の概要

学童保育所は、放課後等において、就労などの理由により保護者が不在となる小学生を対象に、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る目的の施設である。

保内学童保育所は、県産スギ材を主体とする地域材をふんだんに活用して、子どもたちが安全にかつ快適に活動できる木のぬくもりと暖かさのある施設となっている。

◆工法等の特徴

村上市産スギ材を圧縮した床材を使用している。通常のスギの床材よりも強度が上がり、傷つきやすさを解消したもので、メンテナンスも容易と考えられる。

◆整備にあたり工夫したこと

小学生が使う施設であることから、児童が木のぬくもりを感じながら、安全におもいっきり遊べる施設になるように工夫した。

◆利用者の声

小学生を迎えにくる保護者からは「裸足でも安心して子供たちが遊べて大変よい」
小学生からは「木の模様（木目）がおもしろい」との意見を受けている。

Ｂ－６　羽茂こども園

所 在 地	新潟県佐渡市羽茂本郷
事業主体	社会福祉法人こどものいえ
構　　造	木造平屋建て
延床面積	1,285.1m2
竣工年度	平成28年度

木材利用量	149.2m3
うち県産材	135.2m3
使用樹種	県産スギ、国産ヒノキ、米マツ
設　　計	㈱チャイルド社
施　　工	本間建設㈱

◆施設の概要

木造で建てたいという施主の意向を受け、木造平屋建てとした。「トキが翼を広げたイメージ」の建物配置がプロポーザルコンペで採択され、使用木材の9割以上に県産材を使用。降雨時でも濡れずに送迎バスから入ることができるようエントランスには6mの屋根を掛けた。

◆工法等の特徴

園舎は「トキが翼を広げた形」をイメージし、部屋を台形にすることで緩やかなカーブを実現した。エントランスホールから遊戯室までを一体化した大空間で、直径220mmの丸柱は佐渡産材の集成材8本を使用。柱間は最大8mスパンで、杉構造用集成材660mm×120mmの梁を掛けた。

◆整備にあたり工夫したこと

「木のぬくもり」を感じさせる仕様とし、構造材はもとより、建具（下駄箱など）も杉材とした。

◆利用者の声

「木のぬくもりが感じられ、落ち着ける」と保護者からは好評である。

Ｂ－７　名立たちばな保育園

所 在 地	新潟県上越市名立区名立大町
事業主体	上越市
構　　造	木造平屋建て
延床面積	772m2
竣工年度	令和元年度

木材利用量	185.8m3
うち県産材	35.6m3
使用樹種	スギ等
施　　工	高舘・牛木共同企業体

◆施設の概要

入園児童数の減少および各施設の老朽化により、既存2園を統合した保育施設を建設した。子育てひろばを併設することで、これからの名立区の子育て拠点としても利用される。

◆県産材・県産品利用について

柱などの構造材、外壁下見板、木製建具等に県産材を利用した。外壁は、塗り壁と合わせ、下見板とすることで自然素材を生かした風合いとした。

◆整備にあたり工夫したこと

構造上支障のない範囲で県産材を使用することで、生活空間は安全でやさしさを感じられる環境とし、木の柔らかさや温もりを感じることができるような仕上げとした。

Ｂ－８　認定こども園あおのもり

所 在 地	新潟県十日町市馬場丁1577-2
事業主体	社会福祉法人森の保育園
構　　造	木造一部２階建て
延床面積	1,332m2
竣工年度	令和元年度

木材利用量	250.9m3
うち県産材	31.5m3
使用樹種	スギ（十日町市産材含む）等
設　　計	佐藤建築設計事務所・塚野建築設計事務所
施　　工	協和建設㈱

◆施設の概要

既存の「森の保育園」と「水沢保育園」の統合施設として建設された幼保連携型こども園で、定員は135名。名称には「やすらぎの色である青と子どもの遊び場である森」、「草木や作物、空、水など地元の素敵さを表わすもの」などの思いが込められている。

◆県産材・県産品利用について

あおのもりの園舎は、多くの県産材を使用している。間柱、窓台、胴縁といった羽柄材から保育室、廊下などには化粧材としての使用まで、木造建築ならではの使用方法で、地域産材利用をアピールしている。

◆整備にあたり工夫したこと

構造壁内部をはじめ、材に適した使用方法を検討しながら、各所に県産材を使用した。また十日町市産材の杉は現しの化粧梁とし、保育室や屋内外をつなぐ広い廊下に配置し、いつも子どもたちの目に触れるように整備した。

B－9　上越児童相談所一時保護所

所 在 地	新潟県上越市
事業主体	新潟県
構　　造	木造２階建て
延床面積	357m2
竣工年月	令和５年３月

木材利用量	90.8m3
うち県産材	13.9m3
使用樹種	県産スギ
活用事業	－
設　　計	大雅建築設計事務所
施　　工	大栄建設

外観

ホール腰板

◆施設の概要

児童福祉法第33条の規定に基づき一時保護となった子どもが生活する施設。

一時保護件数の増加や個室化への対応のため、子どもが過ごしやすく、安心安全な施設を目指して整備した。

◆県産材・県産品利用について

利用頻度の高いホール等に県産材を活用することで、子どもがリラックスした雰囲気で生活できるよう配慮した。

◆整備にあたり工夫したこと

木造による施設整備を行うことで、様々な理由により一時保護所で生活する子どもに対して、温もりと安心感を与える。

B －10　新発田市児童運動センター「ユウネスしばた」

所 在 地	新潟県新発田市住吉町
事業主体	新発田市
構　　造	鉄骨造平屋建て
延床面積	567m2
竣工年月	令和５年３月

木材利用量	22.8m3
うち県産材	17.6m3
使用樹種	新発田市産スギ等
活用事業	R4次世代育成支援対策施設整備交付金
設　　計	あい設計㈱
施　　工	㈱石井組

施設外観

施設内の大型木造遊具

◆施設の概要

子どもたちが、天候や季節に左右されず、体を思いっきり動かして遊ぶことができる屋内施設を望む多くの市民からの声を受け、旧幼稚園遊戯室を全面改修し、大型木造遊具やボルダリング、多目的広場など、いつでも子どもたちへ遊びを提供できる児童厚生施設として整備した。

◆県産材・県産品利用について

施設における代表的な遊具である大型木造遊具の柱や梁などの構造体や、ボルダリングの壁下地材などに、新発田市産スギ材等を使用した。

◆整備にあたり工夫したこと

年長幼児や小学生を中心に18歳未満の児童が利用することから、温もりのある木造の遊具を整備した。また、地元産の木材を使用し、発信することで、子どもたちにも地域のことや環境などに関心を持っていただくきっかけになると考えた。

B －11　槇原児童クラブ

所 在 地	新潟県柏崎市春日三丁目
事業主体	柏崎市
構　　造	木造１階建て
延床面積	２１０m2
竣工年月	令和５年３月

木材利用量	60.9m3
うち県産材	23.5m3
使用樹種	県産スギ
活用事業	令和４年度電源立地地域対策交付金
設　　計	㈲品田総合設計事務所
施　　工	㈱阿部建設 丸万電機㈱ ㈱柏崎設備工業

外観

遊戯室

構造材（建て方）

◆施設の概要

新築前の児童クラブは近隣町内会の集会所を借用して運営してたが、小学校から約400m程離れており、通所及び送迎時の支障が多くあったことから、槇原小学校の敷地内に新設した。

◆県産材・県産品利用について

市の地域産材利用促進に関する基本方針に基づき、柱や梁などの構造材の一部に県産スギを使用することで利用促進を図った。

◆整備にあたり工夫したこと

間取りの工夫や集成材の梁を使用することで、木造でも柱のない大きな空間を設けることができ、児童がのびのび過ごせる施設となった。

B －12　佐渡市立あいかわこども園

所 在 地	新潟県佐渡市相川下戸村
事業主体	佐渡市
構　　造	木造平屋建て
延床面積	856m2
竣工年月	令和４年５月

木材利用量	135.5m3
うち県産材	59.5m3
使用樹種	佐渡産杉等
活用事業	－
設　　計	㈱藤田設計
施　　工	㈱近藤組

外観

屋根構造材（垂木）

◆施設の概要

佐渡市では少子化が進む中、市内の保育園等における教育・保育効果や安全管理の面から、適正規模の施設を目指して統合を進めており、「あいかわこども園」は、あいかわ幼稚園及び相川保育園の統合園として、令和三年五月に園舎建設工事に着手し、外構工事も併せて整備を進め、令和四年五月に開園しました。

◆県産材・県産品利用について

佐渡市公共建築物等木材利用促進基本方針に基づき、佐渡産木材の利用促進の取り組みとして建物の構造の一部と外装羽目板、軒天には佐渡産杉を使用しており、外観は佐渡産杉の持つ素材の風合いに着目し、木目を活かした仕上がりとしました。

◆整備にあたり工夫したこと

新園舎は世界遺産保全エリア内の海が見える高台に位置し、景観に配慮した木のぬくもりあふれる木造平屋建ての建物としました。

B －13　あらかわ保育園

所 在 地	新潟県村上市坂町
事業主体	村上市
構　　造	木造平屋建一部鉄骨造
延床面積	2,013.79m2
竣工年月	平成26年3月 （大規模修繕　令和5年6月）

木材利用量	34.97m3
うち県産材	12.56m3
使用樹種	いわふね杉（村上市産杉）
活用事業	－
設　　計	株式会社　基設計
施　　工	株式会社　加藤組

保育室

遊戯室

◆施設の概要

老朽化していた3園（坂町保育園、荒島保育園、大津保育園）を統合して平成26年4月から定員210名として開所した施設であるが、令和4年8月3日からの大雨により浸水被害を受けたため、大規模修繕を行った。

◆県産材・県産品利用について

大規模修繕に際して木育のため、以上児棟の遊戯室、保育室等の床に村上市産スギの圧縮材を使用した。

保育室等の腰壁は、東京オリンピック・パラリンピックの選手村宿泊棟で使用した村上市産材を加工して、施工した。

◆整備にあたり工夫したこと

腰壁は再利用木材であることから、節の穴埋め等を行い、園児がけがをしないように配慮した。

B －14	保内学童保育所

所 在 地	新潟県村上市下鍛冶屋
事業主体	村上市
構　　造	木造平屋建て
延床面積	445.51m2
竣工年月	平成28年3月 （大規模修繕　令和5年6月）

木材利用量	64.69m3
うち県産材	36.08m3
使用樹種	いわふね杉（村上市産杉）
活用事業	－
設　　計	有限会社　モア建築設計事務所
施　　工	株式会社　横井組

外観

遊戯室

◆施設の概要

老朽化と利用者児童拡大に対応するため、平成27年度に新潟県森林・林業・木材産業機構改革事業補助金を活用し、県産材をふんだんに使用した施設として、平成27年度に建替したが、令和4年8月3日からの大雨により浸水被害を受けたため、建設当初と同様に県産材を使用して大規模修繕を行ったものである。

◆県産材・県産品利用について

大規模修繕に際して、建設当時に県産材を使用した箇所については、県産材による復旧を図った。

遊戯室等の腰壁は、東京オリンピック・パラリンピックの選手村宿泊棟で使用した村上市産材を加工して、施工した。

◆整備にあたり工夫したこと

腰壁は再利用木材であることから、節の穴埋め等を行い、児童がけがをしないように配慮した。

B －15　新潟県立図書館 こむすびルーム

所 在 地	新潟県新潟市中央区女池南
事業主体	新潟県
構　　造	鉄筋コンクリート造２階建て
延床面積	106m²
竣工年月	令和６年12月

木材利用量	1.022㎥
うち県産材	1.022㎥
使用樹種	県産杉
活用事業	R６県立図書館 子育て応援事業
設　　計	有限会社 羽二生建築設計事務所
施　　工	五十嵐建設 株式会社

こむすびルーム

県産材のおもちゃ

◆施設の概要

県立図書館では、子育てに優しい新潟県の実現を目指す取組のひとつとして、図書館を訪れた子育て中の保護者が安心してこどもを預け、落ち着いて読書ができるよう、館内の一室を改装して預かり保育室「こむすびルーム」を設置し、専門の保育スタッフによる保育サービスを開始した。

◆県産材・県産品利用について

保育室の床材と壁の一部に県産材を使用している。また県産材でできた知育玩具も設置しており、年齢に応じて楽しく過ごすことができる。

◆整備にあたり工夫したこと

床材や壁に県産材を使用することで木のぬくもりを感じられ、窓の外に広がる鳥屋野潟公園の自然と調和した空間となっている。

B －16　新発田市加治川児童クラブ

所 在 地	新潟県新発田市上今泉366番1
事業主体	新発田市
構　　造	木造
延床面積	179.96㎡
竣工年月	令和7年2月14日

木材利用量	77.83㎥
うち県産材	64.63㎥
使用樹種	杉
活用事業	「－」
設　　計	あい設計㈱
施　　工	㈱岩村組

外観

活動室

◆施設の概要
既存児童クラブの老朽化に伴い、児童の安全、利便性を考え学校敷地の一部へ移転し新築したもの。

◆県産材・県産品利用について
通常であれば構造断面積を考えれば米松等の曲げ、せん断強度等の耐久性の大きい材料を選定ところではあるが、杉の有効活用を考え集成材とし断面積を小さくし強度を確保し活用した。

◆整備にあたり工夫したこと
本来であれば木目等を表しとし内部仕上げ材にて利用したかったが、杉は樹種としては柔らかく傷や反りなどが発生しやすいものであるため、長期の利用を考えた場合に維持補修費が多額に掛かると考え、仕上材としての利用はせず、出来る限り構造材にて活用を図った。

B －17　柏崎市子どもの屋内遊び場 キッズマジック

所 在 地	新潟県柏崎市東本町
事業主体	柏崎市
構　　造	テナント
延床面積	1,585m2
竣工年月	令和７年３月

木材利用量	34.64m3
うち県産材	34.64m3
使用樹種	柏崎市産スギ
活用事業	ふるさと納税、森林環境譲与税
設　　計	タカオ株式会社・柏崎木材協会
施　　工	タカオ株式会社・柏崎木材協会

遊具

フローリング

◆施設の概要

子育て環境の充実を図るため、乳幼児から小学生までが天候に左右されず安全に遊ぶことができ、保護者も安心して見守ることができる無料の屋内遊び場として整備した。

◆県産材・県産品利用について

大型遊具3種、小型遊具1種、フローリング及び外周フェンス等に使用する木材の全てを柏崎市産スギとすることで、裸足でぬくもりを感じられ、木の香りに包まれる、屋内でありながらも自然を感じられる遊び場とした。

また、次年度（令和7年度）の寄贈品や追加整備品（ローテーブル・荷物棚）も同木材で製作しており、整備後においても地元産材の活用を進めている。

◆整備にあたり工夫したこと

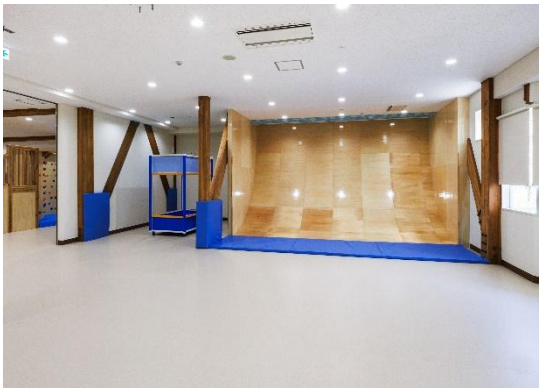
遊具メーカーと地元木材協会を連携させることで、それぞれの専門性を活かすとともに、整備現場での細部調整に対応可能な体制とした。

フローリングには、地元の木であることを実感してもらえるよう、節がある木材も使用しているが、節が著しく多い木材については、遊具の下に配置するようにした。

B －18　あがりーな

所 在 地	新潟県東蒲原郡阿賀町石間
事業主体	阿賀町
構　　造	木造一部ＲＣ構造
延床面積	2,235.06㎡
竣工年月	令和６年３月

木材利用量	18.41㎥
うち県産材	16.35㎥
使用樹種	県産スギ（阿賀町産）
活用事業	デジタル田園都市国家構想交付金 過疎地域持続的発展支援交付金
設　　計	（株）堤建築設計事務所
施　　工	福田・新栄特定共同企業体



◆施設の概要

道の駅「阿賀の里」の一部スペースをリニューアルした、全天候型のあそびの広場。天候に関係なく遊べる巨大な屋内施設で、明るく温かい雰囲気いっぱいの木造滑り台や大型ネット遊具、最新のデジタル砂場などが整備され、町内外の来場者が訪れる施設として賑わいを創出し、交流人口の拡大も図るため整備した。

◆県産材・県産品利用について

遊具の全量と内装の一部（腰板等）に県産材（阿賀町産材）を使用した。特に遊具は、子ども達が直にふれるためにこだわりをもって使用した。

◆整備にあたり工夫したこと

木目がそのまま見え、木を直接感じられる造りにした。

B －19　村上市屋内遊び場

所 在 地	新潟県村上市上助渕
事業主体	村上市
構　　造	鉄筋コンクリート造　2階建て
延床面積	1,314.82㎡
竣工年月	令和8年1月（改修）

木材利用量	26.6㎥
うち県産材	26.6㎥
使用樹種	県産スギ
活用事業	－
設　　計	株式会社　堤建築設計事務所
施　　工	株式会社　水倉組　下越支店 株式会社　大田電気 株式会社　長谷川電気工業所

玄　関

内　部

村上市産材のフローリング

◆施設の概要

閉校した旧小学校の体育館を活用して、小学生以下の児童を対象に遊具等を通じた多様な遊び場を提供するため令和4年度に開館。半面を市産材スギを使用した木製遊具をはじめ、多様な遊具を配置、半面はボール遊び、走ったりできるフリースペースとしている。空調の改修整備にあたり、フローリングの張替えが必要なことから、利用者に村上市産材に触れてもらうため、フローリング及びその下地に村上市産材スギを使用した。

◆県産材・県産品利用について

村上市産材スギのフローリング及びその下地を使用した。フローリングが村上市産スギであることをPRするため一部に刻印している。

◆整備にあたり工夫したこと

柔らかくキズが付きやすいスギ材を圧縮し、硬度を高めてフローリング材とした。

B －20　新発田市立大峰保育園

所 在 地	新潟県新発田市下小中山
事業主体	新発田市
構　　造	木造平屋建て
延床面積	994.60㎡
竣工年月	令和7年12月22日

木材利用量	267.1㎥
うち県産材	160.4㎥
使用樹種	新発田市産スギ
活用事業	－
設　　計	㈲富永設計
施　　工	成和建設㈱

外観

玄関

◆施設の概要

新発田市立大峰保育園は、日本で一番小さな山脈として知られる櫛形山脈の1つである大峰山の麓にある。保育園から臨める山並みやのどかに広がる田園風景など恵まれた景観との調和に配慮し、自然豊かな広い敷地を活かした、平屋建ての伸びやかな園舎とした。

◆県産材・県産品利用について

新発田市産の木材を園舎の構造材や内装材（腰壁、建具、家具等）に利用している。子どもたちの五感を刺激し感性を育み、リラックス効果やストレス軽減で集中力や社会性を高める効果が期待できる。また、『ZEB』の普及と合わせて環境教育にもつなげている。

◆整備にあたり工夫したこと

新潟県内の自治体初、公立保育園では全国3例目となる『ZEB』認証保育園で、大容量の太陽光パネルや蓄電池を設置するなど、令和3年に宣言したゼロカーボンシティに貢献しています。

災害時には、乳幼児とその家族を受け入れる福祉避難所としても機能し、太陽光パネルや蓄電池を災害時にも役立てている。

Ｃ－１	認知症共同生活介護事業所 グループホームももの舎

所 在 地	新潟県刈羽村大字刈羽
事業主体	㈱スワロー
構　　造	木造平屋建て（増築）
延床面積	492.6m2（増築部分）
竣工年月	平成23年３月

木材利用量	151m3
うち県産材	136m3
使用樹種	県産スギ、米マツ等
活用事業	Ｈ22 森林整備加速化・林業再生事業
設　　計	㈲ハート１級建築士事務所
施　　工	東北工業㈱

◆施設の概要

１２名の利用者が2つのユニットの中で、ひとり一人に沿った生活支援を受けながら共同で暮らせる施設。「地域交流室」を設けてあり、併設の小規模多機能型居宅介護事業所「ももの木」と合わせた施設全体を使った交流イベントを開催し、利用者と地域住民、介護スタッフの親睦を深めている。

◆工法等の特徴

建物構造は木造在来軸組工法。大黒柱、丸太梁、太鼓梁柱、廊下には等間隔で梁を連続させ、空間ごとに変化のある木組みが見える。屋根及び壁下地に越後杉合板を使用。

◆整備にあたり工夫したこと

越後杉をふんだんに使い、木のぬくもりと温かみのある空間とし、あわせて薪ストーブを導入して自然の温かさを演出。

◆利用者の声

「木のぬくもりが嬉しい、薪ストーブに癒やされるとの声や、地域交流活動イベントを通じ大勢の方と交流するのが楽しい」と評判が良い。

Ｃ－２　サンテ駅前桜寿

所 在 地	新潟県柏崎市日石町
事業主体	㈱さくら介護サービス
構　　造	木造２階建て
延床面積	1,836.73m2
竣工年月	平成26年10月

木材利用量	318.6m3
うち県産材	198.31m3
使用樹種	県産スギ、国産ヒノキ、米マツ等
活用事業	Ｈ25 森林整備加速化・林業再生事業
設　　計	㈱植木組
施　　工	㈱ホームテリアユー

◆施設の概要

越後杉を多く取り入れ、夏に涼しく冬に暖かく、住むに人に優しく健康的に安心して生活できる住環境を備えた高齢者向け木造施設。

柏崎駅徒歩3分の好立地に位置し、近くには文化施設アルフォーレ、駅前公園、ショッピングセンターがある。

◆工法等の特徴

構造材には越後杉を多量に使用しているが、耐火の法規制で隠れてしまうため、燃えしろ設計などによりできるだけ木が見えるように工夫している。

◆整備にあたり工夫したこと

「施設」ではなく「住み慣れた家」を感じられるように木質空間を取り入れた。

トータルで生活支援サービスができるように通所介護施設を併設し、当施設利用者の利便性を高めた。

◆利用者の声

「木造住宅の様に木のぬくもりを感じる」、「癒される」など、利用者だけでなく訪問される親戚・友人等からも好評である。

Ｃ－３　地域共生型高齢者福祉複合空間「つばめ」

所 在 地	新潟県柏崎市元城町
事業主体	㈱スワロー
構　　造	木造２階建て
延床面積	865.11m2
竣工年月	平成26年９月

木材利用量	209.66m3
うち県産材	131.02m3
使用樹種	県産スギ、国産スギ、ヒノキ、米マツ等
活用事業	Ｈ25 森林整備加速化・林業再生事業
設　　計	㈲ハート１級建築士事務所
施　　工	㈱太田材木店

◆施設の概要

「デイサービスセンター」、「サービス付き高齢者向け住宅」、「地域の茶の間」の３つの役割を持つ複合施設。住み慣れた地域で生活したいという高齢者の願いをかなえ、旅館に来ているかのような感覚で生活できる空間となっている。

◆工法等の特徴

建物構造は木造在来軸組工法。柱、梁組、仕上材など木が見える工夫をした大空間は、木の個性を活かした丸太の柱と梁組で、どこか懐かしく落ち着いた雰囲気となっている。

◆整備にあたり工夫したこと

越後杉をふんだんに使用した旅館風建物に調和するように家具等も厳選した。

◆利用者の声

「梁などが見え、木の香りが漂い、木のぬくもりや温かみを感じる空間で、心が和む」と評判がよい。

C－4	高齢者・障害者用社会福祉施設 だいにちスローライフビレッジ

所 在 地	新潟県上越市大字大日
事業主体	㈱リボーン
構　　造	木造２階建て（センター棟） 木造平屋建て（医療棟・住居棟）
延床面積	4,820.75m2
竣工年度	平成26年度

木材利用量	1,684m3
うち県産材	1,140m3
使用樹種	県産スギ、国産ヒノキ、カラマツ、米マツ
設　　計	㈲ハート１級建築士事務所
施　　工	㈱加賀田組新潟支店

◆施設の概要

高齢者が安心して住める「サービス付き高齢者向け住宅」、働きを通じて生き甲斐の場となる「センター棟」、健康面でも安心できるように「医療棟」を配置した高齢者・障害者用社会福祉施設である。

◆工法等の特徴

「サービス付き高齢者向け住宅」は、越後杉をはじめ県産材をふんだんに使用した在来工法であり、その造りは上越市高田地区の雁木（がんぎ）長屋をイメージさせる。

住宅の基礎には県産杉の木杭を約2千本使用している。

◆整備にあたり工夫したこと

「センター棟」、「サービス付き高齢者向け住宅」において、柱、梁組、仕上材など木材を積極的に現しとして使用している。

◆利用者の声

住環境や施設が充実しており、利用者からは好評である。

Ｃ－５　一莖草庵（いっきゅうそうあん）

所 在 地	新潟県新潟市東区本所
事業主体	社会福祉法人岡山福祉会
構　　造	木造平屋建て
延床面積	23m2
竣工年度	令和元年度

木材利用量	9.6m3
うち県産材	8.7m3
使用樹種	県産スギ、ラワン合板等
設　　計	㈱プロジェクト・ナカノ
施　　工	㈱プロジェクト・ナカノ

◆施設の概要

隣接する認定こども園、乳児園、デイサービスセンター、ショートステイ施設の利用者相互及び地域住民との交流に向けて、かまどのある土間と小上がりを備えた休憩施設を設置した。

◆工法等の特徴

外観は鎧下見張で古民家風の佇まいとし、内部は木組みが見える構造とした。内側の木部は柿渋塗りで仕上げ、建具も木製を採用して懐かしさを演出した。

◆整備にあたり工夫したこと

子どもたちがビオトープで遊ぶ環境に合わせて新建材を使わない木造建築とし、遊び疲れた時に木のぬくもりを感じながら休めたりおにぎりを食べたりできる建物を、また、高齢者にとっても敷地内の散策路やビオトープの周りをゆったりとリハビリを兼ねて散歩し、幼い頃に暮らしたような木造建物の軒先に腰を掛けて、世間話が自然とできるような建物を目指した。

◆利用者の声

「かまど小屋（一莖草庵）や東屋でおにぎりを食べ、豊かな自然環境の中、木のぬくもりを感じながら親子で楽しい時間を持てた。」（親子遊びをする会参加者）

「ヤギ小屋でヤギに触れ、かまど小屋などで休憩し、木のぬくもりを感じながらゆったりとした時間を過ごせた。」（近隣高齢者介護施設のお出かけツアー参加者）

Ｃ－６　上海府デイサービスセンター

所 在 地	新潟県村上市野潟
事業主体	村上市
構　　造	木造
延床面積	17㎡
竣工年月	令和６年３月

木材利用量	5.73㎥
うち県産材	5.73㎥
使用樹種	いわふね杉（村上市産杉）
活用事業	－
設　　計	－
施　　工	株式会社　稲葉組

◆施設の概要

日本海が一望できるホールとお風呂がある地域密着型のデイサービスセンターである。晴れの日は日光浴ができるサンデッキと、お風呂の目隠しのための板塀を全面リニューアルした。

◆県産材・県産品利用について

サンデッキ・手摺・目隠し板塀は全て市産杉を使用することで、周囲の景観と調和する外観とした。

◆整備にあたり工夫したこと

海岸に面しているため防腐処理後に保護塗料塗布を行った。